



ハーフタイム



活動報告書

(2023年度分)

代表者あいさつ

地域には必ず、「生きづらさを抱えた子どもたち」がいます。なかには、文字通り、命懸けで日々命をつないでいる子もいます。

「生まれてきたことが失敗なんだ」

「生きているのがツライ。もう何もしたくない…」

そう思ってしまう子どもたちが、少しでも前向きな気持ちになれるよう、私たち一人一人が力を合わせて、子どもたちに寄り添い続けたいです。



理事長 三枝 功侍

ハーフタイムとは

NPO法人ハーフタイムは、貧困、虐待、いじめ、不登校、引きこもり、障害、非行など、さまざまな生きづらさを抱えた子どもたちに寄り添い活動を行う団体です。

現在は、主に葛飾区・墨田区内の民間施設などを利用して、来訪する小学生、中学生、高校生等に対して学生・社会人ボランティアなどが、安心・安全な居場所をつくりながら、生活相談・学習支援のほか、料理教室・スポーツ・お出かけレクなどのレクリエーションも行っています。



2010年
開始当初



11年
初BBQ会



12年
高校文化祭見学



13年
和室で勉強



14年
料理教室



15年
大学文化祭見学



16年
ボクシング観戦

主な沿革

【2010年】

- 1月 任意団体「葛飾区次世代育成支援団体ハーフタイム」が発足
- 2月 第一拠点である「水曜拠点」の活動スタート
- 4月 ブログを開設



【2015年】

- 6月 ブログを閉鎖し、HPを開設

【2016年】

- 5月 Face Bookを開設
- 第二拠点の「月曜拠点」の活動スタート



【2017年】

- 4月 「特定非営利活動法人ハーフタイム」が発足し、任意団体から事業を移管
- 9月 一般社団法人東京キワニスクラブ「キワニス社会公益賞」受賞
- 団体ロゴを刷新
- NPO法人ハーフタイム設立記念シンポジウム「子どもの居場所を考える」開催
- 『活動報告書(2017年9月版)』を発行(以降、年1回発行)



【2018年】

- 3月 東京都教育委員会の人権学習教材映像『Voice!!!一人権の教室』掲載
- 5月 大妻女子大学家政学部児童学科と連携開始

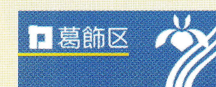
【2020年】

- 4月 『東京都子供・若者計画(第2期)』に掲載



【2021年】

- 1月 東京都主催オンラインイベント「若チャレー未来のヒントを見つけよう」に出演
- 独立行政法人福祉医療機構「2019年度WAM事業:事業評価報告書」にて「特に優れた事例紹介」として取り上げられる
- 3月 葛飾区から「令和2年度葛飾協働まちづくり表彰」受賞
- 住友生命保険相互会社「第14回子育て支援活動」にて「スミセイ未来賞」受賞
- 11月 葛飾区社会福祉協議会から「ふれあいサロンあきみつ」の管理業務の受託



【2022年】

- 5月 理事長の交代(橋井(石原)啓子⇒三枝功侍)

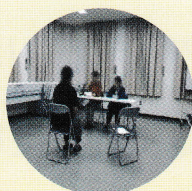


【2023年】

- 8月 理事長(三枝)が「葛飾区くらしのまるごと相談事業推進委員会委員」を拝命
- 12月 寄付者交流会を初開催



2017年
短大OC訪問



18年
受験模擬面接会



19年
研修会



20年
出産お祝い



21年
あきみつ



22年
デザフェス出展



23年
寄付者交流会

ハーフタイムの事業

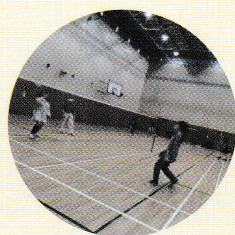
①拠点型の居場所づくり

葛飾区内の複数の地域にて、民間施設などを利用し、各地域で週1～月2回程度、子ども・大人が集まって生活相談と学習支援を行っています。

(日時・場所の詳細はお問い合わせ下さい)

②個別対応

様々な理由で個別の寄り添いが必要な子どもに対して、家庭訪問や外出時の同行支援など一人ひとりの事情に合わせた支援を行っています。



③レクリエーション

年数回、土日・祝日などに、手持ち花火、クリスマス会、年越しなどを行っています。

④情報提供

子どもたちの社会的自立や健全育成について、HP・講演会等を通じて情報提供をしています。

ハーフタイム寄付者交流会

2023年12月18日(土)

NPO法人ハーフタイム啓蒙事業部



インタビュー記事紹介



ハーフタイムでは、スタッフや卒業生といった団体にかかわる
さまざまな方の思いなどを紹介するインタビュー記事を作成しています！

【卒業生】

- ・2020年3月 紗希さん(仮名)
「それでも前を向きたい」
- ・2021年3月 彩綾さん(仮名)
「自分を好きになることを教えてくれた場所」



【スタッフ】 (肩書はインタビュー当時)

- ・2018年9月 三枝功侍(事務局長)
「子供達に『第3の居場所』を提供したい」
- ・2019年3月 細田朱里さん(学生ボランティア)
「何気ない日常と一緒に」
- ・2019年7月 桑原寧子さん(学生ボランティア)
「第4回ハーフタイム主催研修会での発表紹介」
- ・2019年12月 松本彩花さん(学生ボランティア)
「3年間の活動を振り返って」
- ・2020年3月 山崎壘さん(学生ボランティア)
「近い距離で子どもに寄り添えたからこそ得た気づきと経験」
- ・2020年11月 長谷川里美さん(社会人ボランティア)
「長く関わっているからこそ生まれた気づきと想い」
- ・2021年7月 石原啓子さん(理事長)
「ハーフタイムのあゆみとこれから」
- ・2022年1月 齋藤日奈さん(学生ボランティア)
「ただそこに居られる場所の一員として」
- ・2022年9月 山川さおりさん(社会人ボランティア・仮名)
「社会人から始めるボランティア活動」
- ・2023年4月 梶原峻さん(社会人ボランティア)
「継続寄付という関わり方について」



現代は、物質的な豊かさを超えて、精神的な豊かさを追い求める人も多い時代かと思えます。そんな中、寄付はまさに精神的な豊かさに繋がるものだと感じます。...、
社会のプラスになることをできていると思うことで、自分の精神面にもプラスになっています。約12年間に渡り居場所作りを続けてきたハーフタイムと継続的に関わっていることは、周囲に胸を張って話せるくらい誇らしいです。



※各記事の全文は当会HPをご参照下さい。
<https://halftime2010.wixsite.com/halftime/interview>

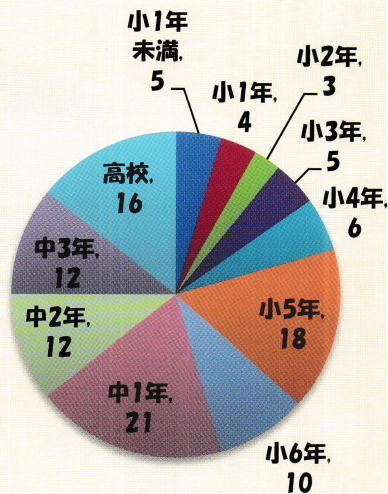
活動実績(2024年3月末現在)

①これまでの受入児総数:112名

(見学のみ、レク等の単発参加、来訪期間1ヶ月未満の子は除く)

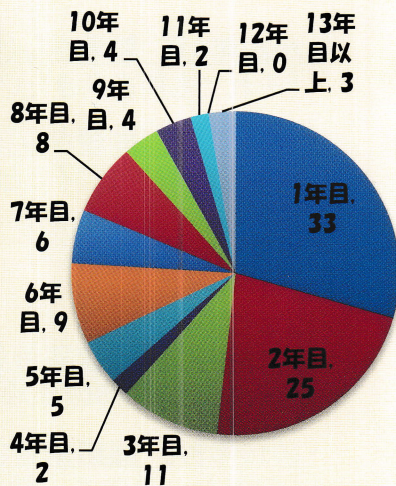
②支援開始時期の学年

学年	人数	割合(%)
小1年未満	5	4.5
小1年	4	3.6
小2年	3	2.7
小3年	5	4.5
小4年	6	5.4
小5年	18	16.1
小6年	10	8.9
中1年	21	18.8
中2年	12	10.7
中3年	12	10.7
高校	16	14.3
合計	112	



③支援期間

期間	人数	割合(%)
1年目	33	29.5
2年目	25	22.3
3年目	11	9.8
4年目	2	1.8
5年目	5	4.5
6年目	9	8.0
7年目	6	5.4
8年目	8	7.1
9年目	4	3.6
10年目	4	3.6
11年目	2	1.8
12年目	0	0.0
13年目以上	3	2.7
合計	112	



④これまでの主な進路先

都立高校：浅草、足立西、足立東、江戸川、大江戸、葛飾商業(全・定)、工芸(定)、一橋(定・通)、農産(定)、南葛飾(全・定)、六本木

都立特別支援学校高等部：葛飾特別支援、志村、水元小合

私立高校：飛鳥未来、S・N高校、鹿島学園、聖進、中央高等学院、不二女子、安田学園、立志舎、ルネサンス

専門学校：新宿医療、竹早教員保育士養成所、東京福祉、華学園、武蔵野栄養

大 学：淑徳、聖徳、和洋女子

企業就職：一般就労(飲食店、運送業、介護事業、製造業、美容、放課後等デイサービス、サービス業など)

福祉的就労(就労継続支援B型事業所など)

⑤これまでの主な合格した各種試験

漢字検定、英語検定、介護職員初任者研修、日本情報処理検定試験(ワープロ・プレゼンテーション作成)

家庭料理技能検定試験、色彩検定

【当会の寄り添い方針】

当会には、「家での話し相手はぬいぐるみだけ」や「生まれたことが失敗だったんだ」と言い放ってしまうような子、虐待に耐えられず家を飛び出して泣きながら相談に来る子、両腕全面にリスカ痕がある子など、抱える生きづらさが深刻な子どもたちがいます。そうした子どもたちの生きづらさは容易には解消しませんし、生きづらさも千差万別で、順調なときとつまづくときとを繰り返しながら、波乱な思春期をなんとか乗り越えていっています。

そのため、日ごろは「何気ない優しい時間づくり」を大事にし、学力向上・進学就職・何かしらのプログラムなど、こちらからの目標・支援の枠はできる限り定めないようにしています。一人一人の寄り添い期間も長期化しますので、受け入れ人数を増やすことも目標とはしていません。まずは、子ども一人一人の思いに寄り添い、安心・安全と思える信頼関係の構築を目指します。その関係性のなかで、中・長期的な視点を持って子どもの成長を見守り続け、**子ども一人一人が見出した「進みたい道」**に進めるよう、寄り添っていくことを心掛けています。



活動支援のお願い

ハーフタイムは、様々な方のご支援によって運営されております。
活動を支えていただける方のご支援を心よりお待ちしております。

一緒に活動する

- ・正会員(年会費12,000円):総会への出席・議決、活動のバックアップ
- ・学生・社会人ボランティア(無償):日々の子どもへの寄り添い、事務運営のお手伝い

お金の寄付

- ・クレジットカードによるご寄付

今回のみの「都度寄付」、毎月・毎年といった「定額寄付」

<https://halftime2010.wixsite.com/halftime/donation1>



- ・口座振込によるご寄付

①ゆうちょ銀行からご寄付いただく場合

ゆうちょ銀行葛飾新宿支店

口座番号 00160-3-635144

口座名義 特定非営利活動法人ハーフタイム

②他の金融機関からご寄付いただく場合

ゆうちょ銀行(店番018)

預金種目 普通預金

口座番号 8650395

口座名義 特定非営利活動法人ハーフタイム



【リターン例】

・HT通信

・子どもとの創作品のプレゼント

【2022(令和4)年度事業報告・活動計算(HPIに詳細掲載中)】

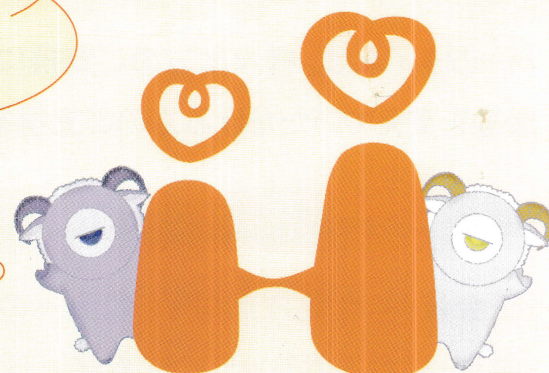
(1)事業報告(延べ人数)

- ・拠点型事業 : 従事者人数937人、受益対象者人数1,488人
- ・個別対応型事業 : 従事者人数1,007人、受益対象者人数852人
- ・生活訓練事業 : 従事者人数39人、受益対象者人数43人
- ・情報提供事業 : 従事者人数若干名、受益対象者人数不特定多数

(2)活動計算

- ・経常収益: 12,415,777円
(内訳、受取会費264,000円、受取寄附金6,847,139円、受取助成金等3,298,000円、事業収益2,006,600円、その他38円)
- ・経常費用: 7,662,165円
(内訳、事業費7,116,341円、管理費545,824円)
- ・当期経常増減額: 4,753,612円
- ・前期繰越正味財産額: 5,419,394円
- ・次期繰越正味財産額: 10,103,006円

日々の活動の様子について、
ホームページなどでご紹介中です！
ぜひご覧ください！



子どもが描いたイラストとロゴのコラボ

会員構成(2024年3月末現在)

・学生ボランティア : 53名

(大妻女子、学習院、国際医療福祉、成蹊、聖心女子、聖徳、専修、大正、中央、筑波、津田塾、帝京、東京医科歯科、東京未来、東京理科、東洋、独協、日本、日本女子、日本女子体育、法政、武蔵野、立教、立正、早稲田、首都医校専門、東京福祉専門、日本福祉教育専門など)

・社会人ボランティア : 62名

(学校教員、弁護士、障害児・高齢者介護施設、公務員、マスコミ、社協、他団体NPO、一般企業など)

・正 会 員 : 24名

(葛飾区職員(元含む)、葛飾区議会議員、葛飾区民生児童委員、大学教員、弁護士、保護司、中間支援組織職員、一般企業職員、地域住民など)

お問い合わせ先

NPO法人ハーフタイム (理事長 三枝功侍)

〒125-0054 東京都葛飾区高砂7-25-19

TEL: 090-5827-4346

E-mail: k.halftime@live.jp

HP: <http://halftime2010.wixsite.com/halftime>

